

集合はちょっと遅めの午前九時二本松市役所の車に分乗して出発。車山口への入口、わかり

三月十四日(日) 三月山行、郡山市中田町、中津川、ニッ石山
報告□□□□□



10時49分、ニッ石と参加者

10時49分、ニッ石と参加者
阿武隈山地は「ベグマタイト」の有名な産地で、郡山市西田町(三春町の手前)には国指定天然記念物「鹿島神社のペグマタイト岩脈」があり、往復とも脇を通りた。「石英」だと、実は玉村象目田稲荷等でも大きなペグマタイト見る事できる。その上には「グリーンタフ(緑色の凝灰岩)」の露頭もあった。普段はくすんだ深緑色なのだが、なぜだか水に濡れてとても綺麗な緑色だったので撮影した。十時四十九分にはニッ石に到着。此処まで二十三分。参加者と一緒に写したので大きさよくわかる。「目に見えぬ」かたい契合で結ばれた/幸福(しあわせ)よゑ□(あたついし)」、□は女と男と石組み合わせた字「国字」と言うか「外字」というかそんなもの。

二本松市郊内1-5-5
FAX: 0243(22)4245
渡辺正

第389号
発行所
二本松市鉄扇町
あだたら山の会
編集部

三月十四日(日)
三月山行、郡山市中田町、中津川、ニッ石山
報告□□□□□

はない。広くなっている路肩を利用して駐めるわけだが、十台くらいは駐められる。登山口には親切な案内看板がある。「山頂迄徒歩二十分」との表示もある。十時二十六分発。登り道の途中でペグマタイト見付けた。「石英」だと、実は阿武隈山地は「ベグマタイト」の有名な産地で、郡山市西田町(三春町の手前)には国指定天然記念物「鹿島神社のペグマタイト岩脈」があり、往復とも脇を通りた。白沢村白岩、大玉村象目田稲荷等でも大きなペグマタイト見る事できる。その上には「グリーンタフ(緑色の凝灰岩)」の露頭もあった。普段はくすんだ深緑色なのだが、なぜだか水に濡れてとても綺麗な緑色だったので撮影した。十時四十九分にはニッ石に到着。此処まで二十三分。参加者と一緒に写したので大きさよくわかる。「目に見えぬ」かたい契合で結ばれた/幸福(しあわせ)よゑ□(あたついし)」、□は女と男と石組み合わせた字「国字」と言うか「外字」というかそんなもの。



11時2分、ニッ石山、山頂三角点にて

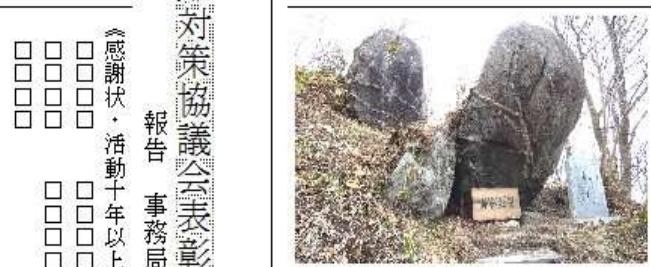
十二時過ぎに、三春滝桜脇公衆トイレ下の駐車場で昼食。とにかく寒い日で、車の中で、昼食食べた。ほぼ予定通りに二本松に戻った。



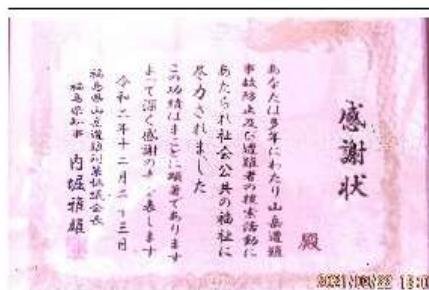
ベグマタイト



屏風岩



ニッ石



感謝状
福島県山岳遭難対策協議会表彰
令和二年度、
活動二十年以上

今年度の県山岳遭難対策協議会の表彰は、コロナ禍の影響で、関係者が集まつての表彰式は無く、受賞者へ賞状・記念品が直接送付されました。当会の表彰者は以下の通りです。

福島県山岳遭難対策協議会表彰
報告事務局
感謝状・活動十年以上

三月十五日、宅配便で届いたものを開けて見ると福島県山岳遭難対策協議会長福島県知事内堀雅雄氏からの感謝状だった。何の心当たりの無い私の努力により、頂く事が出来たのではないかと思う。あだたら山の会会員の皆様の努力により、頂く事が出来たのではないかと思う。心よりお礼申し上げます。

□□□□

あなたは多年にわたり山岳遭難救助および被災者の援護活動にあたられた社会公益の福祉に尽力されました
この功績はまさに顕著であります
よろしく感謝の意を表します
令和二年十二月二十三日
福島県山岳遭難対策協議会
内堀雅雄

三月山行

トロール
報告



7時34分、岳温泉から安達太良山頂、登山者が2人

二月山行 私熟中近で重ね
なくなってしまって途中で下山、反省しています。今日は良く晴れて温かな日、風も無い。すぐ暑くなつたので、防寒着脱いで、袖まくった。熱中症対策だ。仙女神分岐の平地は雪がないがそれ以外はしっかり雪道だ。樹氷坂の上からは山頂に向けて真っ直ぐ道付いていく。九時五十八分山頂柱到着。

山頂の八絃一字の塔、西側に落ちていた。正面を下にして倒れているので、何の塔であるかは判らない。塔の前の石祠、屋根だけ手前に落ちていた。方位盤台座、あつた場所から別の場所に転がつたわけではなく、あつた場所でひっくり返っていた。

山頂結構人がいたが、石塔倒れ正在こと気に留める人いなかつた。大体そんなもんだ。十時三十四分下山開始。登る時と違つて夏道を下る。大斜面を下る時、踵で急な雪面下る、その快感久し振り。仙女神の体力上がってきただ、よく見たら□高校山岳部だった。口アップウェイ山頂駅の上で、山スキーリングしたマスクの人と話して、お互に元気なこと喜んで別れた。薬師名乗ってくれた。前岳連会館長の□□さんだった。ちゃんと話して、

岳山頂には、ロープウェイで登って来た整装の人が沢山いた。山頂の登山者肉眼で見えると教えたり、子供に鍾撞させたりした。
五葉松平下がった。昨年十月に設置したアルミ梯子、二月十三日の地震で、石から外れたり、或いは石そのものが崩れたりしてできなくなつていなかつた。
□□□さんが、毎年設置してくれていた、五葉松平標柱脇の「冬季用ボール」、折れていて離れた場所から見付ける事、出来なかつた。今年からは「会の作業として」ちょっとと規模大きくして実施するようしたいと思うが、如何がでしょうか。
山から帰ってきたら、頭の中スッキリしていた、下にいるときは頭の中に「もうやもやした濃い煙のよう物」が有るのだが、それが全く無くなつたのだ。山に行つてくると何時もこうなるので、とても嬉しいのだ。



須田さん撮影の写真



落ある前の状況 阿部健さん

落成式報告編集部 屋根も落ちていた。昭和三十九年に設置された方位盤の土台も倒れていた。三月四日に□□さんが事務局室に来訪、写真見せてくれた。六日の例会で写真と経過を報告した。市役所にも届けた。方が良いと言う事で、書類を作成し、翌日観光課と生活環境課に届けた。既に親光課には岳温泉観光協会から連絡があつたと言う事であつた。

八絃一字塔は昭和十五年に安達郡連合青年団が立てた。石祠は不明。方位盤は昭和三十九年に会達製専業理の□□□さんが寄贈したもの。当面登山活動に邪魔にならない状態なので様子見て行きましょう。

因みに安達太良山頂は一本松市と郡山市の境界線上にあり(国土地理院H.P.)、山頂三角点は二本松市大字永田字長坂国有林十二林班となつてゐる(二等三角点の記、大関平)。

▼三月八日、□□副会長、次の方から写真と情報載きました。

▼三月十八日、会員外・□さん、

▼三月二十三日、□□□さん。



方位盤土台と三角点標柱